

授業科目名・形態	高齢者福祉論 I	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	中里 操・白男川 尚	開講期	1年後期	単位数	2

【授業の主題】

高齢者の生活総体を社会福祉の視点から捉えるのが高齢者福祉論である。高齢者が抱える生活障害を高齢者福祉題として理解する。その上で生活支援にあたって必要とされる高齢者の様々な特性を理解するとともに少子高齢化社会の中で高齢者の福祉ニーズと福祉資源、福祉サービスシステムについての基礎知識から実践的レベルまで、関連施策も含めて包括的に理解できるようにする。

【到達目標】

1. 高齢者の生活を社会的問題として認識する仕組みを理解する。
2. 高齢期における身体的、精神的、心理的、社会・済的特徴を理解する。
3. 高齢者の保健福祉システムについて理解する。
4. 高齢者の生活支援と地域包括支援システムの概要を理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 高齢者問題とはなにか。(社会変動・変容と高齢者問題) (中里)
 第2回 高齢者の生活障害と高齢者福祉問題 (中里)
 第3回 高齢者の特性を理解①(高齢者の社会的理解) (中里)
 第4回 高齢者の特性を理解②(高齢者の身体的・精神的理解・総合的理解) (中里)
 第5回 少子高齢社会と社会的問題①(少子高齢社会への移行とその要因・課題) (中里)
 第6回 少子高齢社会と社会的問題②(高齢者の健康問題、介護問題、経済的問題、生活意識) (中里)
 第7回 高齢者保健福祉の発展 (中里)
 第8回 高齢者福祉関連法規 (白男川)
 第9回 介護予防と予防サービス (白男川)
 第10回 介護過程における展開技法 (白男川)
 第11回 認知症ケアの歴史と理念について (白男川)
 第12回 認知症高齢者に対する行政施策 (白男川)
 第13回 終末期ケアのあり方について (白男川)
 第14回 介護・生活支援と住環境問題 (白男川)
 第15回 高齢者世帯・単身高齢者問題と地域包括支援システム (白男川)

【授業実施方法】 講義形式で行う

【授業準備】

前回講義を復習する。講義予定箇所を読み、専門用語、概念等について調べておく。疑問点を整理しておく。講義中に事例として取り上げたニュースなどは自分で確認しておく。

【主な関連する科目】 社会福祉概論、社会保障論、地域福祉論等

【教科書等】

「高齢者に対する支援と介護保険制度」第5版(新・社会福祉士養成講座13、中央法規)

【参考文献】 適宜紹介する。

【成績評価方法】 出席状況・レポート 30%と期末試験70%の総合評価とする

【学生へのメッセージ】

高齢者を取り巻く現状と課題を踏まえ、地域包括支援システムを理解する。介護問題に収斂せず、地域文化も含めた生活環境と生活実態に関心を持って下さい。